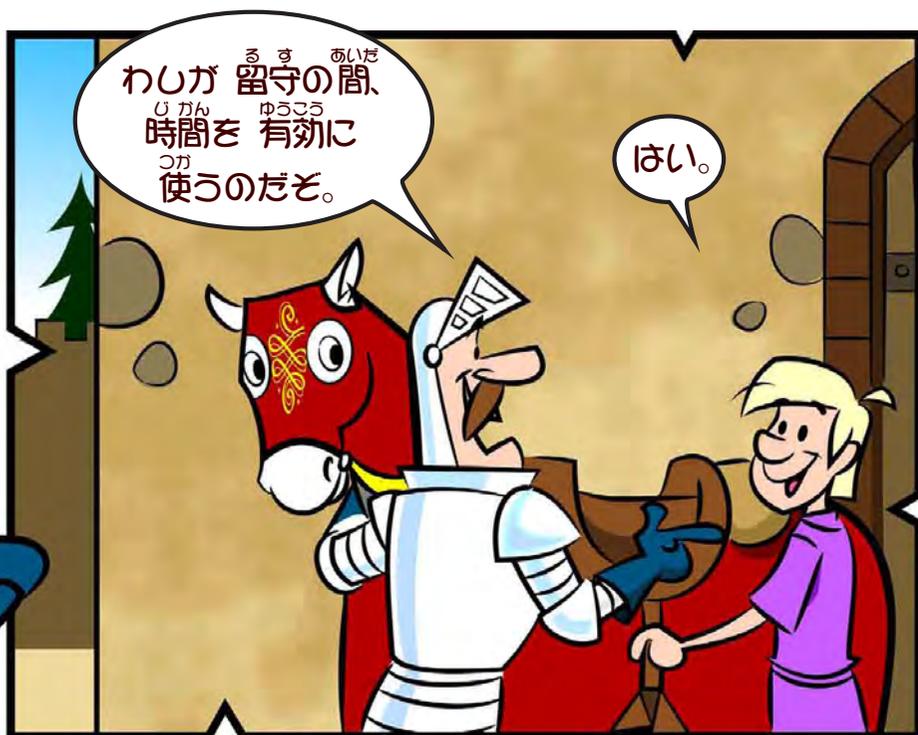


さいこうに なみはず せんじゆつ
最高に 並外れた 戦術

ありがとうよ、
アルバート。お前も 立派な
従騎士¹になったのさ。

¹ 従騎士：貴族の出で、一人前の騎士になるまで、
騎士の見習いとして 実地訓練を受ける 若者。

われらが ^{えいゆう きし}英雄騎士の
^{ちからごよ}力強い ^あ王は、^{たたか}戦いの ^{ぜんせん}前線に
わしを ^め召された。

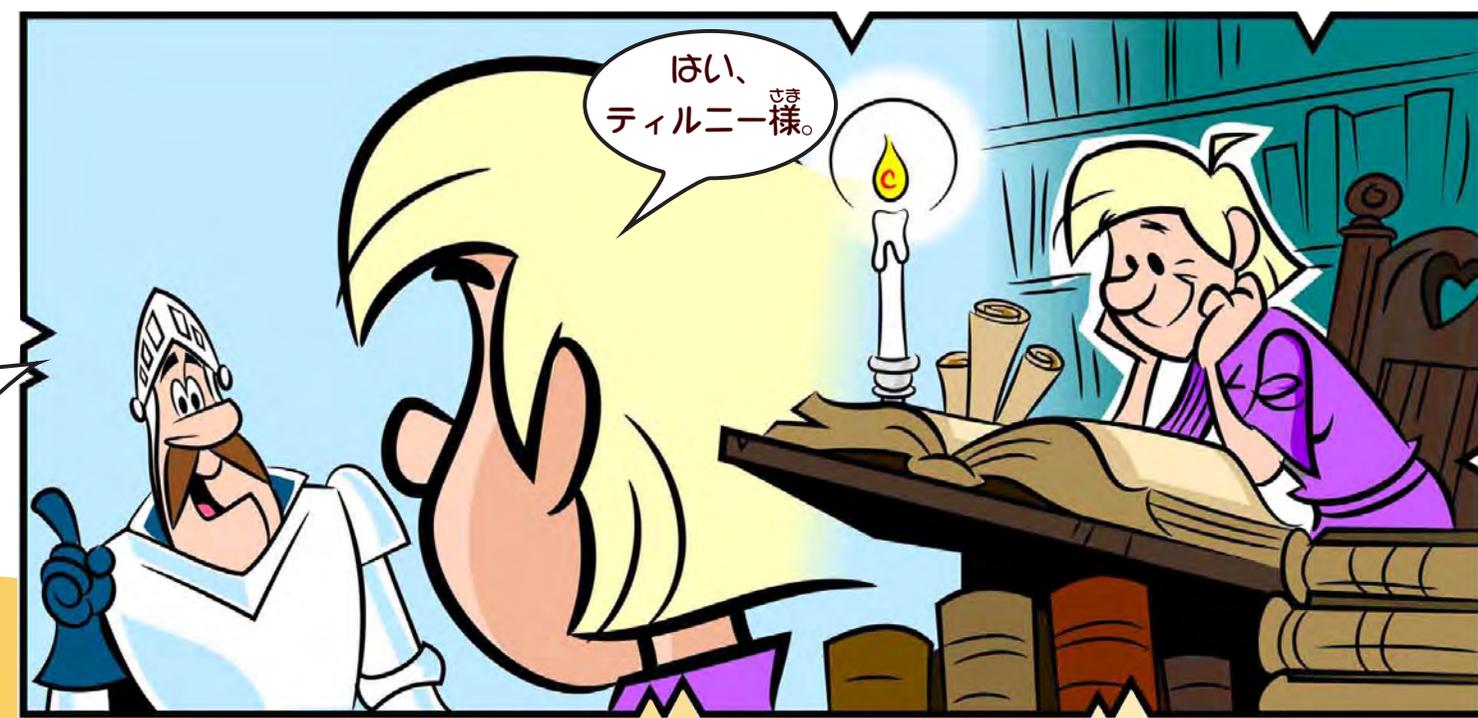


わしが ^{るき}留守の間、
^{じかん}時間を ^{ゆうこう}有効に
つか ^つ使うのだぞ。

はい。

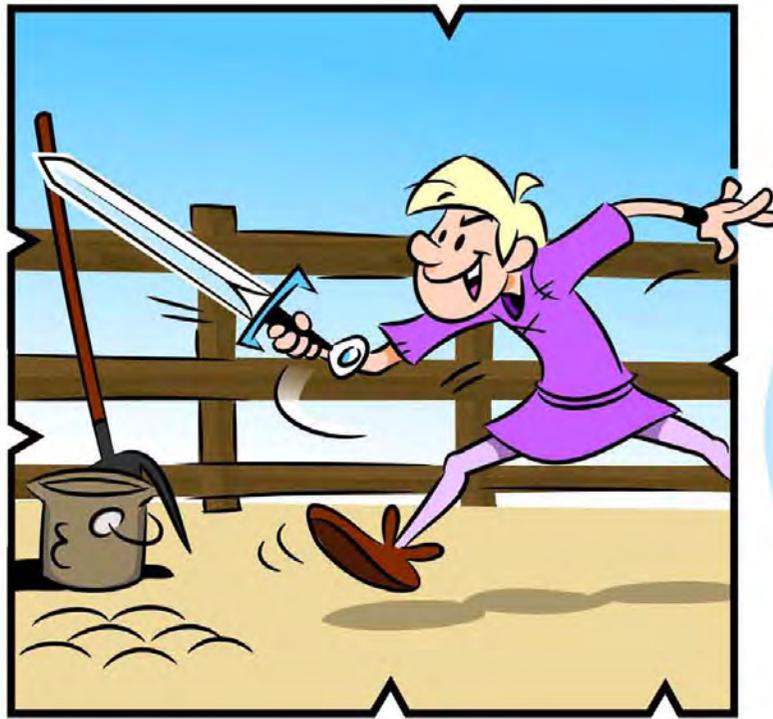
^{たたか}戦いの ^{ほんしつ}本質から
い ^い言って、^{こんかい}今回 ^{あまえ}おまえには
いっしょに ^き来てもらおう
^{ひつよう}必要は ^{ない}ない。

われらが ^あ王の
^か書かれた ^{しよもつ}書物を、
^{ちゅうじつ}忠実に ^{がくしゅう}学習するのじゃ。
^あ王の ^{ことば}言葉こそ、^{まこと}真の
^{ちから}力の ^{みなもと}源だからの。



はい、
ティルニー様。

わしが ^{おし} 教えた
^{つるぎ} 剣の ^{つか} 使い方を、
^{れんしゅう} 練習せよ。

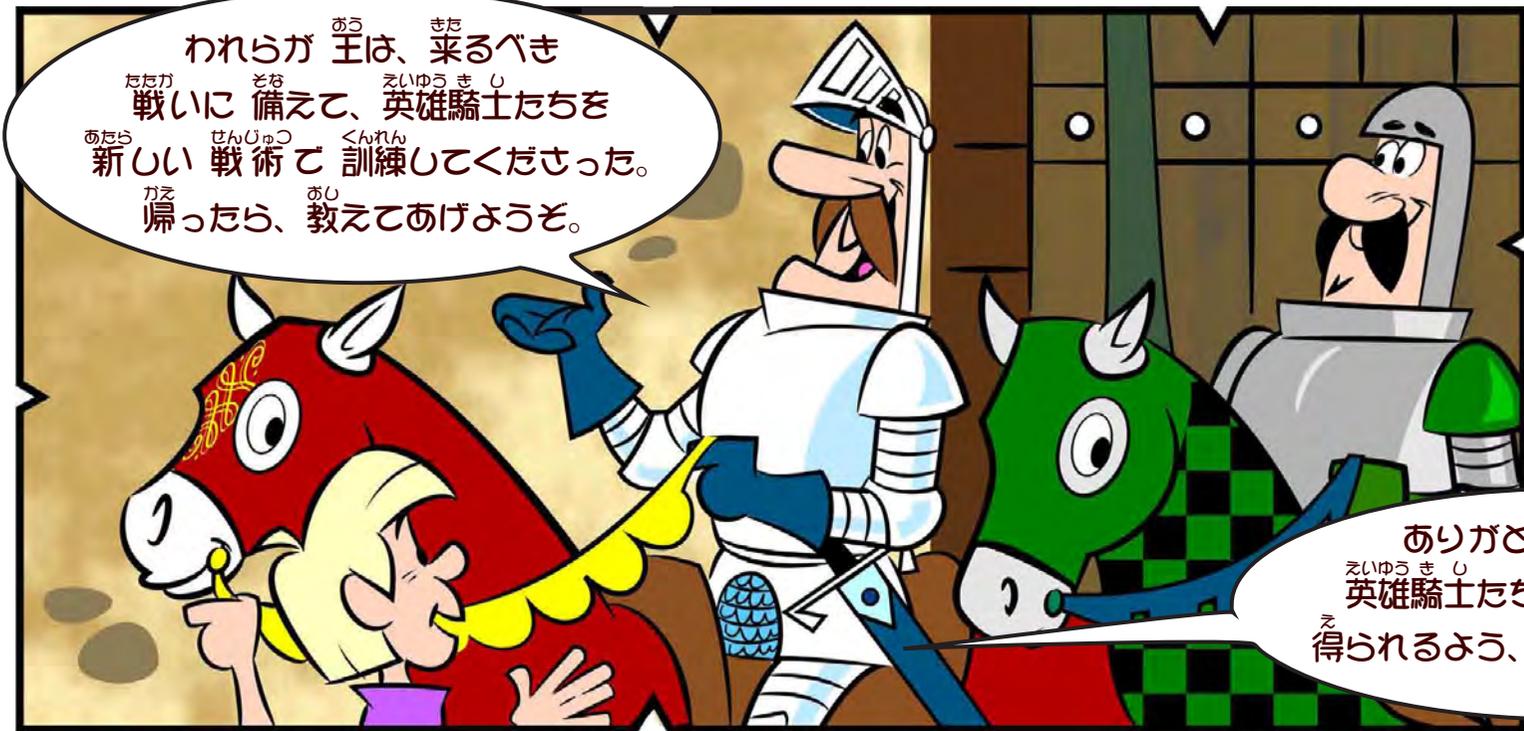


この ^{うで} 腕も、
^{つよ} 強めるのだぞ!

^{よろこ} きた、喜んで
^{ほか} 他の者たちを
^{てつた} 手伝うのじゃ。



^{まこと} 真の ^{きし} 騎士とは、^{つね} 常に ^{つか} 仕える
^{まがい} 機会を ^{さが} さがしているものだ。
^{しゅじん} 主人で
^{ある} ある ^お 王と、^か その ^{しん} 家臣たちに
^{つか} 仕えるためにな。



われらが王は、来るべき
戦いに備えて、英雄騎士たちを
新しい戦術で訓練して下さった。
帰ったら、教えてあげようぞ。

ありがとうございます。
英雄騎士たちが今度も勝利を
得られるよう、お祈りしております！

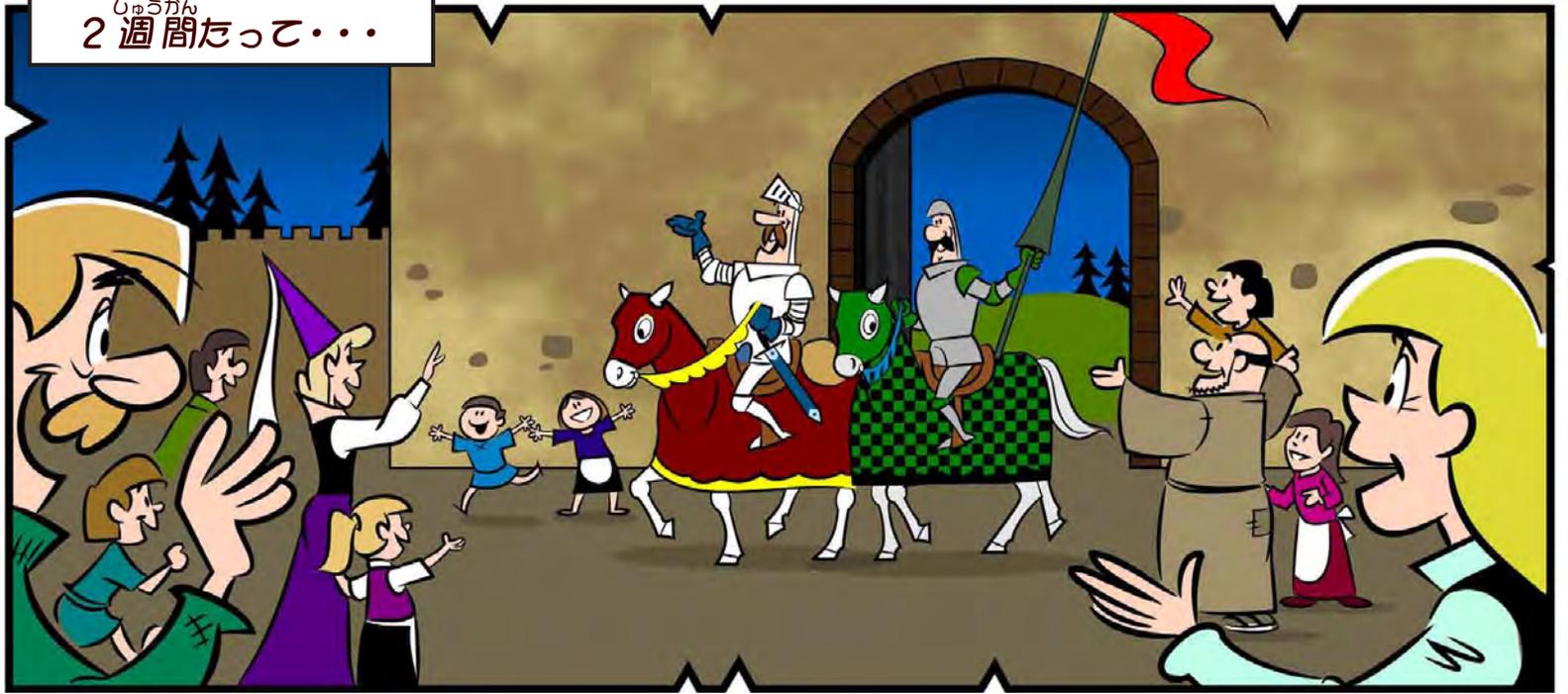


ありがとうよ。
祈りには、強大な力があるからのっ！

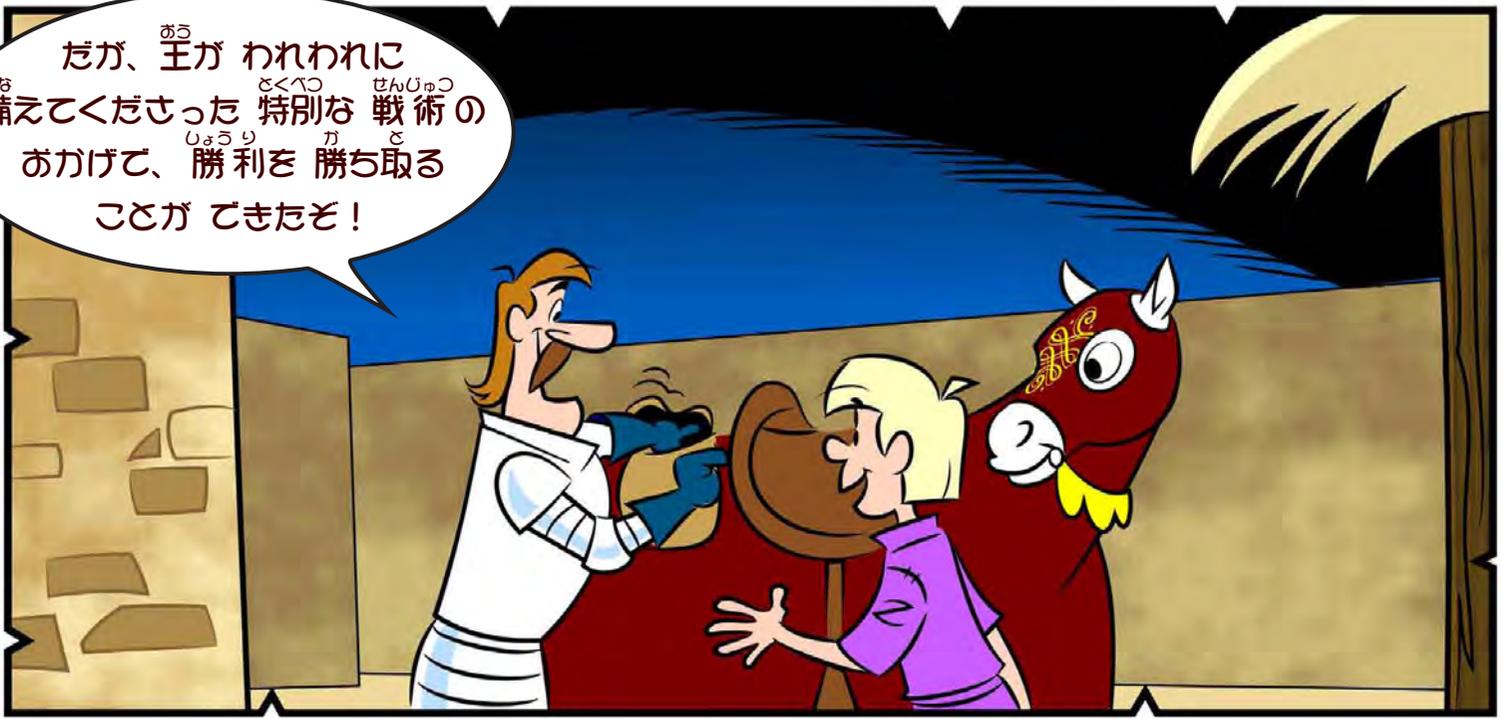


お前が任務に
送り出される日もそう
遠くはないぞよ！

しゅうかん
2週間たって……



だが、王がわれわれに
備えてくださった特別な戦術の
おかげで、勝利を勝ち取る
ことができたぞ！

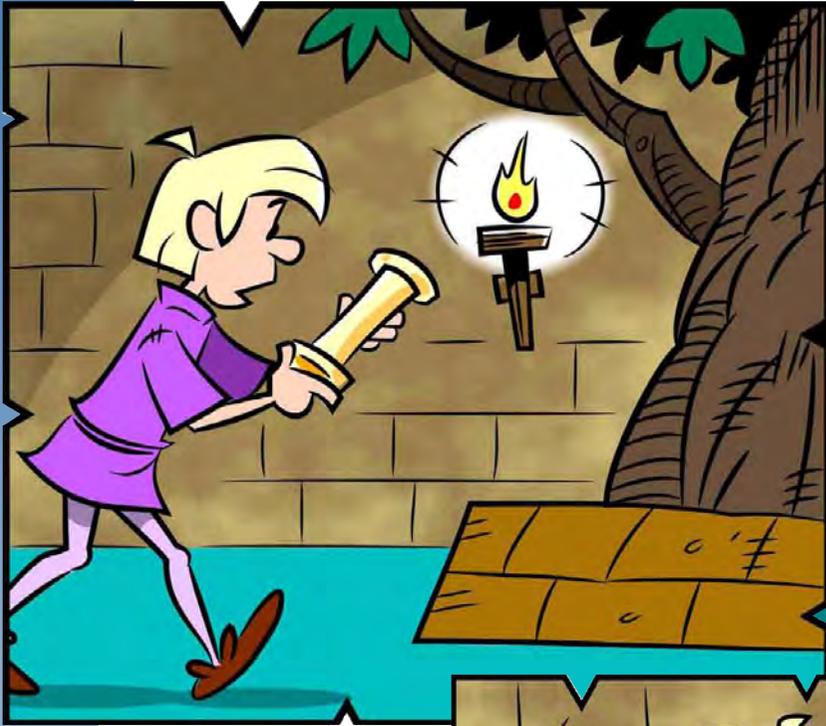


ここに
記されている
戦術には、大いなる
力がある！



これを読みなされ。そしてすぐに、この術を使う
練習をし始めるのじゃ。これが太刀打ちできぬ
ものだぞ わがるぞ！





わが勇氣ある英雄騎士よ、わが王国を長年に渡り
忠実に守ってくれたことを、感謝する。戦いは
はげしかったが、なんじはわたしが与えた武器をよく
使いこなし、勝利し続けた。
ついでに、並外れた力を持つ戦術を紹介しよう。
敵は、今までも増してはげしく攻撃してくるだろう。
だが、この術を使えば、わたしの助けによってなんじは
必ず勝利する。
戦いの間、なんじは声をあげて、賛美せよ。わたしへの
感謝の気持ちを表すのだ。たとえ状況はいかなる
ものでも、またいかなる困難にあっても、感謝の
気持ちを表すことが最大事と心得よ。
なんじがわたしへの感謝を表す時、わたしはふしぎな
力でなんじを助けることができるようになる。なんじが
戦いで賛美を用いるのを聞く時、敵はおじけづく。敵は、
自分たちの力がわたしの力には太刀打ちできないと知って
いるからだ。だから、戦いでこの感謝の術を使うのじゃ。
そうすれば、すべての戦いに勝利することを、わたしが
保証しよう。

ティルニー様、これが
本当に、先日の戦いで用いる
ようにと王がお授けになった、
特別な戦術なのですか？



そういう
ことじゃ！

ひつ ちからつよ
実に力強い
武器じゃった
のっ！

いちじ
一時は、
もう少しで
敗北するところ
じゃった。だが、
われわれが 尊美の
声をあげると、戦いの
形勢が一変し、勝利が
われわれのものさ
なったのじゃ！



ひがし・・・わたしには、これが
どのように役立つのが、わから
ないのですが。



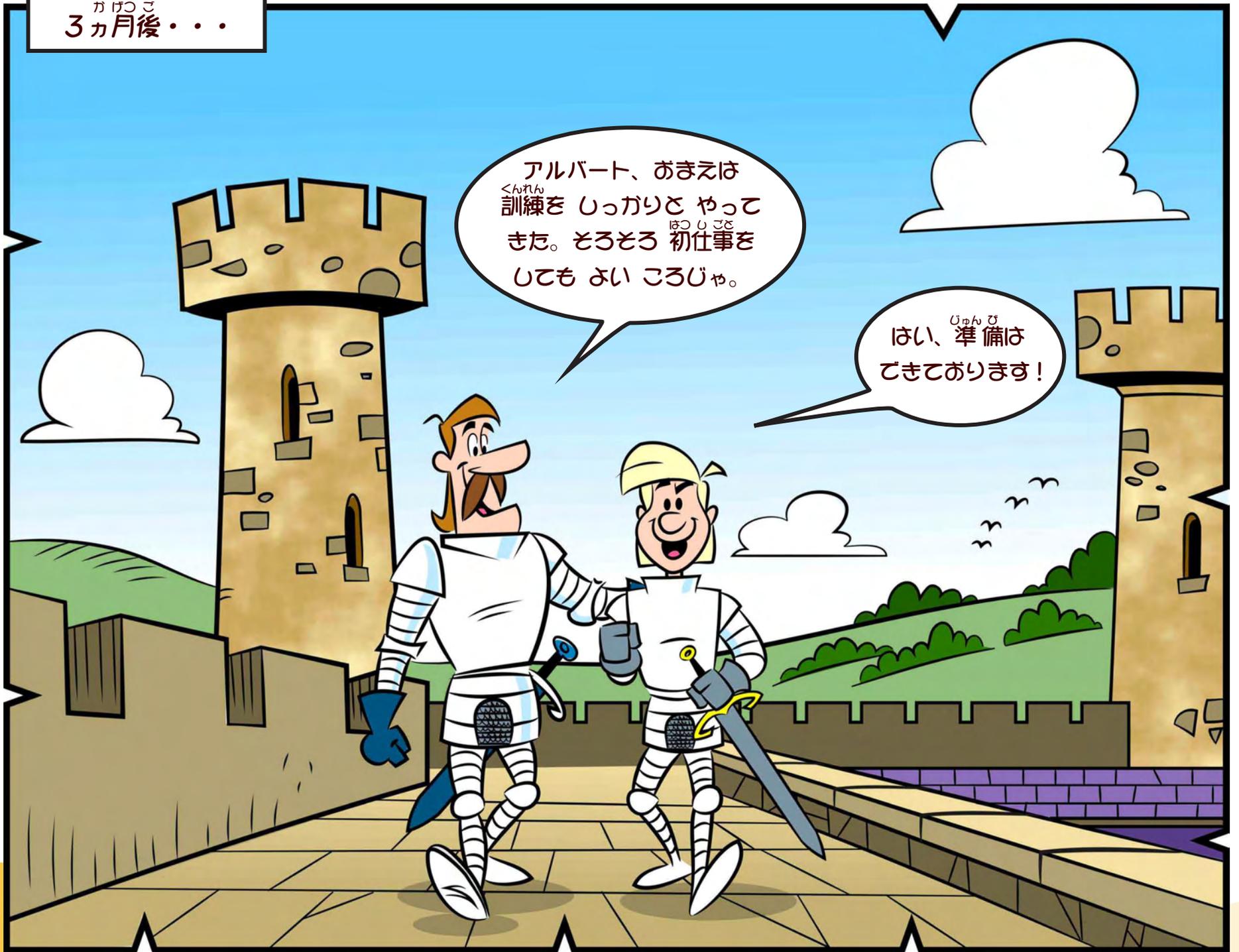
だから、
おまえもこれから、この
術じゆつを たくみに 使いこなす
ことことを 学まなばねばの。

はぁ、わかりました。
そう あっしやるの
てしたら。

かけっこ
3カ月後・・・

アルバート、おまえは
訓練をしっかりとやって
きた。そろそろ初仕事を
してもよいころじゃ。

はい、準備は
できております！



この任務をうまく
果たせば、英雄騎士の
一員になるよう招かれる
じゃろう。

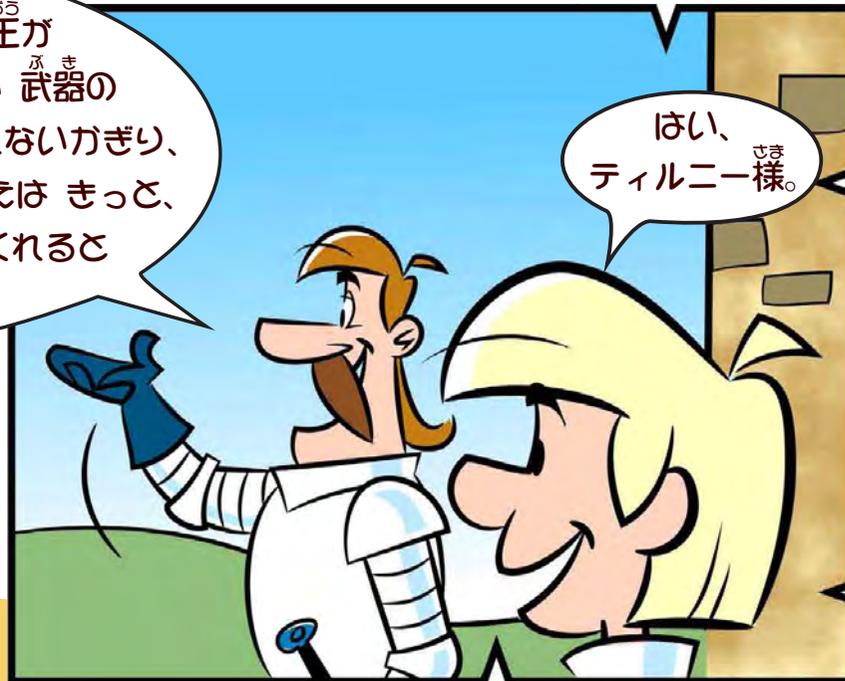


では、ティルニー様は
新しい従騎士を
お探ししたほうが
よさそうですね。

きっと、任務を
立派に果たして
見せますから！



それが、王の恵みと王が
お授けくださった力強い武器の
おかげだと、いうことをわすれないがぎり、
勇ましくアルバートよ、おまえはきっと、
任務をうまく果たしてくれると
信じてある。



はい、
ティルニー様。

王国の立派な
貴族であるオスカー
伯爵が、巨人につかまっての。
伯爵は巨人のほら穴に
閉じこめられてある。



わたしは オスカー伯爵を
救い出す 騎士団に
加わるのですか？



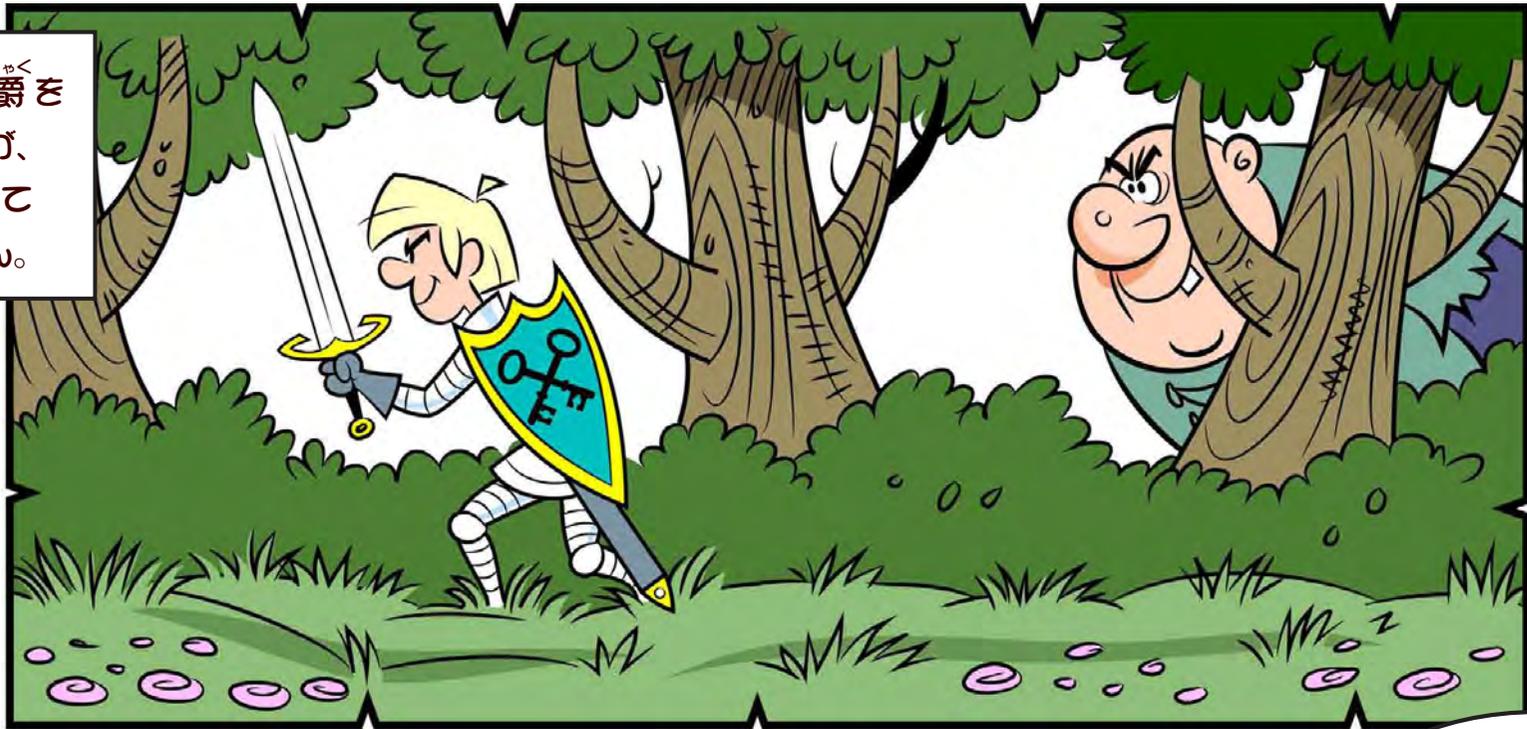
これは、
一人でしか できない
仕事なのじゃ。



いいや。巨人たちは、英雄騎士たちを
非常に 警戒してあつての。それで、
王はこの 救出作戦に

おまえの 手を
借りたいとの ことじゃ。
若き アルバートよ、
王は おまえの
成長ぶりを 見て
おられての。

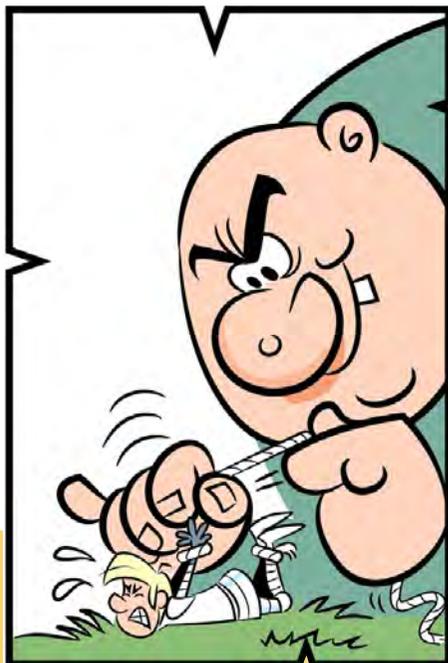
アルバートは オスカー伯爵はくしやくを
救い出しに 向かいますが、
巨人きょじんが かけて うかがって
いることに 気づきません。



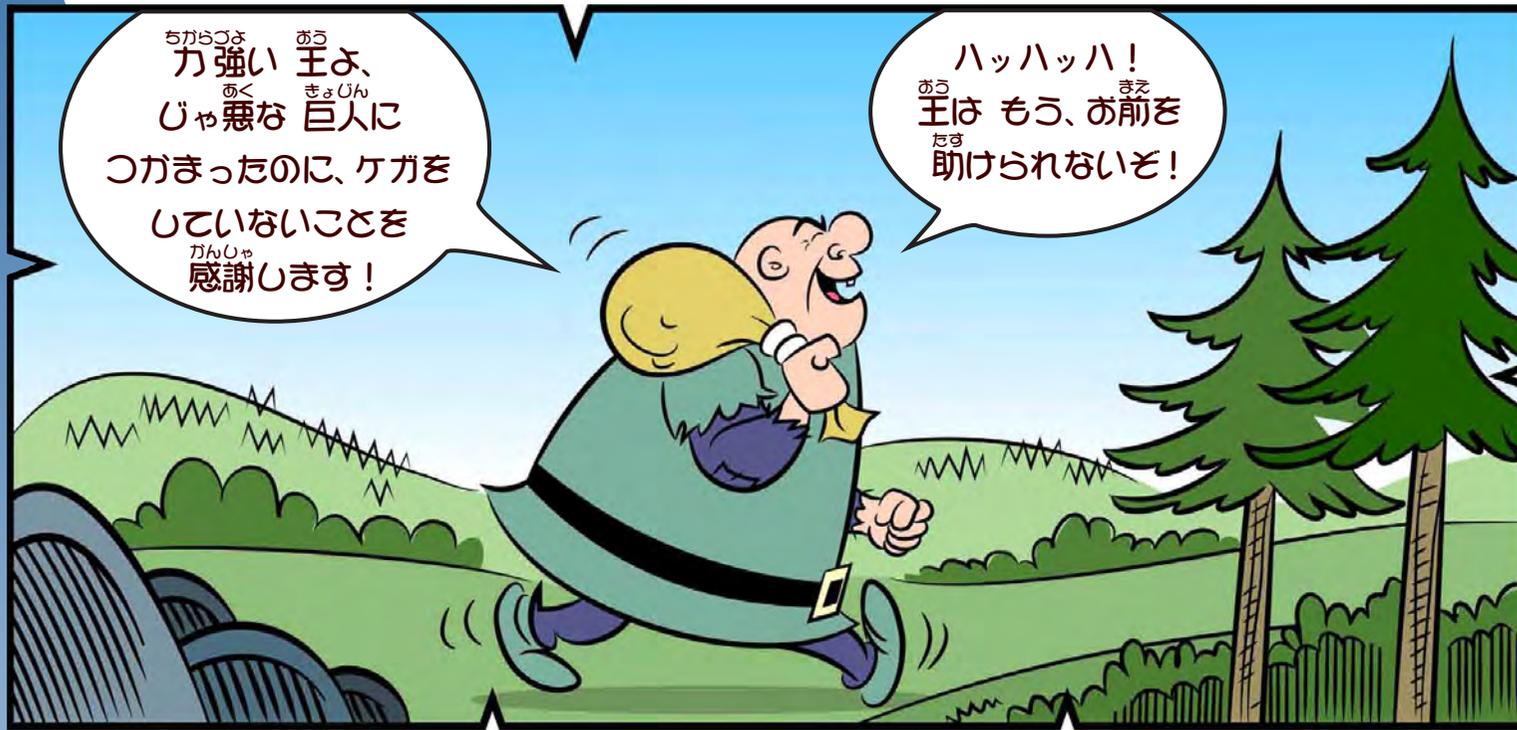
つかまえたぞ!



はな 放せ、巨人きょじん!
わたしは 王あまに 仕える
従騎士ひつろきしだぞ!







ちからつよ あつ
力強い 王よ、
じゃ あく 悪な きょじん 巨人に
つかまったのに、ケガを
していないことを
かんじや
感謝します！

ハッハッハ！
あつ 王は まへ もう、お前を
たす
助けられないぞ！

いだい 偉大なる あつ 王よ、あなたを
さんび
賛美します。ズタ袋の なか 中に
い
入れられて にげられなくても、
かんじや
感謝します！

ハッハッハ！
そういう ことさ！



いだい 偉大なる あつ 王よ、
わたしを い 生かして
くださっていることを
かんじや
感謝します！





いだい
偉大なる 王よ、
あなたは いつも
しょうり
勝利されます！



あら
すばらしき 王よ、
かんじや
感謝します！



はくしゃく
さあ、オスカー伯爵を
み
見つけ出さねば。

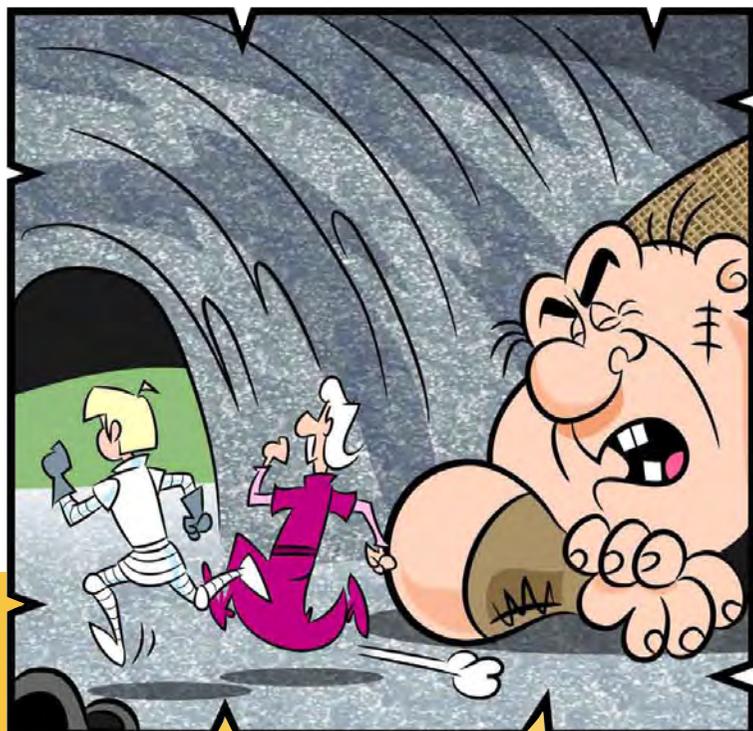
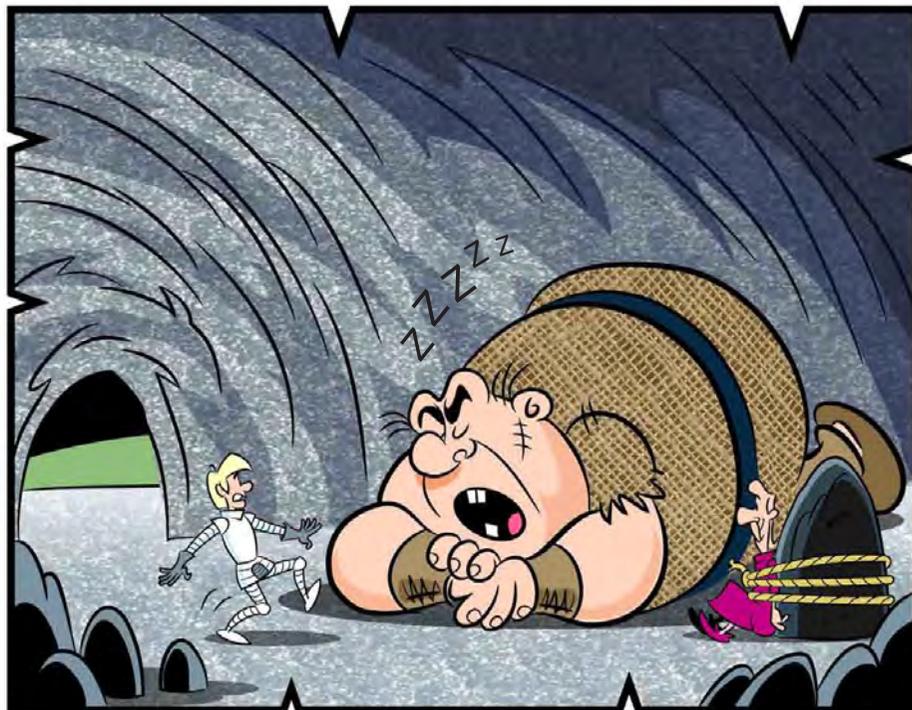


すべてを^し知^られて
あら
王よ、感謝します！ ちょうど
ほら穴のそばに^お置いて
いかれたなんてね！

ふっ〜ん！
はくしゃく
オスカー伯爵が
ひとり きょじん
もう1人の 巨人に
つかまっているのは、
ここかな？



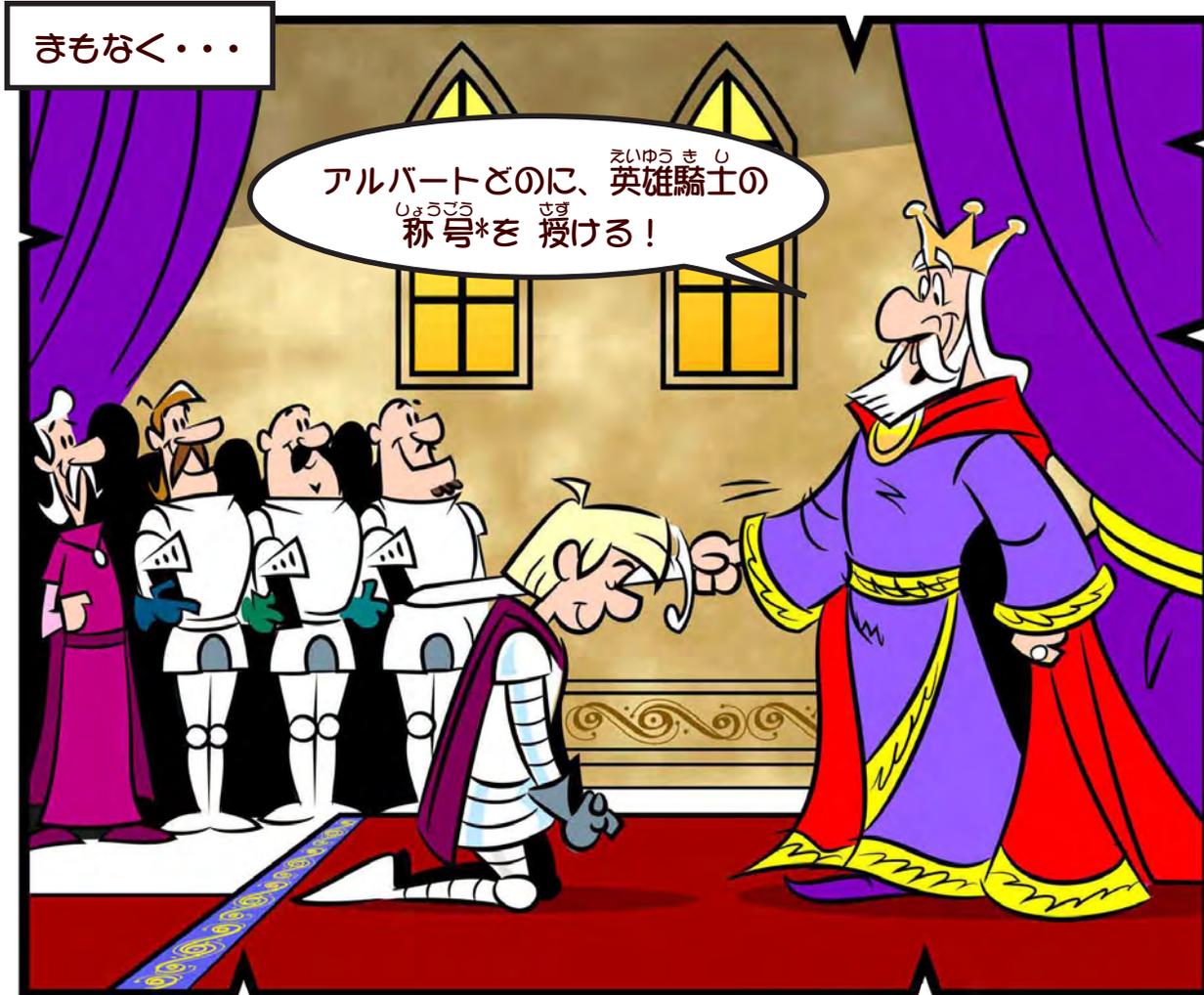
あい
愛する 王よ、わたし
が
夜に^つ着いたことを
かんじや
感謝します。ほら穴に
きょじん
巨人がいたとしても、
おそろくは^ね眠^って
いるだろう。





ほまれ高き王よ、勝利を
もたらした尊美の力を
感謝します！

すばらしい王よ、
自由を感謝します！



まもなく・・・

アルバートどのに、英雄騎士の
称号*を授ける！

* 称号：地位・身分・肩書きなどを表すもの。

お
終わり

文：レイラ・シェイ コミック用編集：クリスティ・S・リンチ 絵：ゼブ デザイン：クリスティア・コーブランド

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2011年、ファミリーインターナショナル

"A Most Extraordinary Technique--Japanese" <http://www.mywonderstudio.com/level-1/tag/japanese>